

2009年度 講師アンケートで寄せられた意見の例

I. 受講者に関する意見

1. 高い学習意欲が感じられる質問が多く、熱心であった。
2. 受講者の予備知識に差があるので、話のもって行き方に苦勞することがある。
3. 社会人で勉学に意欲のある方にとってはとても良い機会である。
4. 熱心に講義を聞いてくれて、レポートも記入時間が少ない割にはきちんと記述されているものが多かった。
5. 一般の社会で生活している方々の素直な意見を聞くことができた。
6. 受講者の幅が非常に広く、課題は受講者に考えてみて欲しい内容としている。それに答えて記述してくれているものも多く、それぞれの受講者の考えを知る機会を得て有益だった。
7. 現場経験があったり、必要に迫られて受講している人が多いため、講義に対する真剣さが伝わってきた。
8. 皆、それぞれの持ち場でがんばっている方々であり、講義するほうとしてもよい意味での緊張感を持てた。
9. 仕事で忙しい中、時間を割いてくる人には、目的・意欲があっけきしている人が多いためか、真摯な態度が感じられた。それぞれの受講生が歩んできたバックグラウンドにより質問や感想が異なり、興味深かった。

II. 講義に関する意見

1. 普段あまり接しない人々を対象とする講義は有意義であった
2. 小レポートコメントは参加者の理解度が確認できて有用であった
3. 大学と異なり社会との接点は積極的に行わないと作れないので、オープンカレッジは大変有益である。また社会に対してアピールできる成果を出す、良い意味でのプレッシャーになる。
4. 様々な分野で活躍されている方からの、素朴な質問やコメントは、日頃研究者の中でしか議論していないので、参考になった。
5. 話の前提となると考えていたことが、人によってはそうではないことが分かった。
6. 質疑応答を通じ、理解を深めることができた。
7. 自らの業務の経験を踏まえた質問があるなど、当方も勉強となる点があった。
8. 日ごろの自分の仕事を、直接的な営利とは関係ない形で社会に表現できたと感じた。
9. 予め受講者の興味がどのような点にあるかがわかれば、もっと意義のある講義ができたと思う。
10. 様々な観点からご意見を頂戴いたしました。利害関係のない方からの率直なご意見として有益でした。

Ⅲ. 講師自身への影響に関する意見

1. 通常機会のない、研究者や学生以外の聴衆に講義することの難しさを知ることができた。
2. 自分の専門分野の内容に関して、一般の方々がどのように理解し、イメージしているかについて一端を知ることができた。
3. 今後、一般に対して研究内容を説明する時、一般人の様々な視点をより考慮した説明ができると思う。
4. 研究者ではない目で見たと、研究の意義や重要性は、今後の研究のあり方や目標設定の参考になる。
5. いろいろな分野からの受講生がいることを改めて知り、さらに自己研鑽するの必要を感じた。
6. 通常の大学教育しかしてこなかった私にとっては、きわめて緊張感の高い、刺激的な経験であった。教育に対する構え方などを自省することになった。
7. 自分の主張が専門的知識を持たない人にどのような印象を与えるのか分かったことが有益だった。
8. 講義することで担当業務を再考する良い機会になった。

Ⅳ. 将来に関するもの

1. 小レポートコメントは、もし、来年度も講師依頼があれば、講義内容に反映させたい。また、オープンカレッジ以外の社会人あるいは大学等で類似の機会があれば反映させたい。
2. 研究の企画・推進や成果等の理解促進の機会に活かしたい。
3. 消費者団体や、一般の方々を対象に講演する機会がある場合に、今回の受講者のコメントは、講演内容を組み立てる上での参考になる。
4. どの部分に疑問を持っているか、どういうポイントに興味を持っているかがわかり、今後の成果をアピールする活動の参考になった。
5. 今後とも、受講生のニーズに応えることができる講座をどんどん開講してほしい
6. 知識や興味にばらつきのある人たちを対象に話をすることもあると思うが、そうした際に生かせると思う。
7. 今後も、できる限り続けていただきたい。また、地方でも、同様の講義の機会(他大学との提携)を企画していただけると なお一層良いと思う。